

日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER



No. 177
2025/05/02

目次

第 21 期理事職掌分担	2
第 21 期事務局	2
理事会報告	2
総会開催のご案内	3
日本中東学会第 41 回年次大会の案内と最終プログラム	3
『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告	11
寄贈図書	12
会員の異動	12
事務局より	13

第 21 期理事職掌分担

第 21 期理事の職掌分担について下記のとおりに決定しました。

会長：森山央朗

事務局長：大塚修

総務担当：小澤一郎

AJAMES 編集委員会：菊地達也（編集長）、福田義昭・竹村和朗（副編集長）

国際交流委員会：森本一夫・横田貴之

企画担当：五十嵐大介・嶺崎寛子

広報担当：鈴木啓之・鶴見太郎

財務・会則担当：後藤絵美

渉外担当：佐藤健太郎

ニューズレター・書記担当：熊倉和歌子

年次大会担当：大川真由子・渡邊祥子

（熊倉和歌子 ニューズレター・書記担当理事（第 21 期））

第 21 期事務局

第 21 期理事会の事務局は下記のとおりです。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科 大塚修研究室内

日本中東学会事務局

電子メール：james@james1985.org

ホームページ：<http://www.james1985.org/>

（大塚修 事務局長）

理事会報告

【メール審議（2025 年 3 月 12 日～2025 年 4 月 25 日）】

1. 2025 年 3 月 13 日 新入会員申請について
2 名から新入会員申請があり、メールで稟議の結果、3 月 19 日に申請内容を承認した
2. 2025 年 4 月 14 日 新入会員申請について
2 名から新入会員申請があり、メールで稟議の結果、4 月 20 日に申請内容を承認した
（熊倉和歌子 ニューズレター・書記担当理事（第 21 期））

総会開催のご案内

2025 年度の日本中東学会総会は以下の通り開催いたします。

日時：2025 年 5 月 17 日（土）17 時～18 時

開催形式：ハイフレックス形式（対面・Zoom ミーティング併用）

会場（対面の場合）：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）2 階 W203

※公開講演会と同じ会場です

ご出席については、お手数ですが中東学会ホームページ上のフォームより事前のご登録をお願いします（配布資料準備の都合上、対面での出席を予定されている方も登録をお願いします）。Zoom ミーティングでの参加をご希望の場合、アドレスなどの情報は総会開催前に登録者へ別途送付いたします。また、総会にご出席ができない会員については、同登録フォームにより事前に委任状をご提出ください。出欠登録・委任状の送付とも、締め切りは 5 月 14 日（水）正午です。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

※中東学会総会の登録フォームには以下のリンクからもアクセスできます。

<https://forms.gle/ykxmD5fgdwVawjmD9>

（大塚修 事務局長）

日本中東学会第 41 回年次大会の案内と最終プログラム

日本中東学会第 41 回年次大会は、2025 年 5 月 17 日（土）および 18 日（日）に開催されます。例年と同じく、大会 1 日目に公開講演会と総会を、2 日目に研究発表・企画セッションを行います。会場は、2 日とも北海道大学札幌キャンパスです。大会 1 日目はハイフレックス方式（対面・オンライン併用）、2 日目は対面方式を予定しています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

1. 参加申し込みについて 締切はこのニューズレター177 号の発行日 5 月 2 日（金）です！

- ・個人研究発表・企画セッション（大会 2 日目）と懇親会（大会 1 日目）への参加は、事前申込と参加費の事前支払い（銀行振込）が必要です。大会参加費は **1,500 円**、懇親会費は一般 **7,000 円**、学生 **4,000 円** です。下記の事前申込フォームからお申込みください。
- ・当日の会場では参加申し込みや大会参加費・懇親会費の支払いは受け付けません。領収書は当日受付でお渡しします。

※ 事 前 申 込 フ ォ ー ム :

<https://forms.gle/SoxmQYEUNDtyLXwE7>



振込先:

銀行口座: ゆうちょ銀行 店名(店番): 二七九(ニナナキュウ)店(279)

(当座) 口座番号: 0104239

※記号・番号で振り込む場合: 02790-2-104239

口座名称: 日本中東学会第 41 回年次大会実行委員会 (ニホンチュウトウガ ッカイダ イボンジ ユウイッカイネジ)

代表: 末森 晴賀

* 振込手数料は振込者負担でお願いします

- ・公開講演会(大会 1 日目)は、どなたでも無料・登録不要で参加できます(オンライン参加の方に限り、当日までに参加登録をお願いします)。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_FvJWkVrxSrecMULpp5t_jg



2. 要旨集・発表資料のオンライン配布について

- ・第 41 回年次大会では、要旨集や各発表者の資料は会場で配布せず、オンラインで配布します。パスワードなどの詳細は、参加費支払が確認できた申込者のみに、後日通知します。

3. 託児所・託児サービス・就学児休憩室について

- ・会場内に設置される託児所の利用希望受付は 4 月 18 日(金)に締め切りました。
- ・これとは別に、ご自分で託児サービスを手配される方には費用補助があります。お子様一人につき一人あたり原則 5,000 円が上限です。ご利用を希望される方は、**5 月 9 日(金)**までに、大会実行委員会事務局宛にご連絡をお願いします。また、大会終了後 1 週間以内に利用の詳細と利用がわかるもの(領収書など)を事務局までメールにてご送付願います。
- ・大会 1 日目、2 日目ともに、就学児休憩室の設置を予定しています。ご利用を希望され

る方は、当日受付でお申し出ください。

4. その他（宿泊・食事・wifi）

- ・札幌駅や大通公園周辺に複数の宿泊施設があり、北海道大学へのアクセスも便利です。近年、混雑していて予約がとりづらいことがあるので、早めの予約をおすすめします。
なお、大会実行委員会では宿泊の斡旋等はおこなっておりません。
- ・大会2日目の昼食につきましては、キャンパス内では大学正門近くの「カフェ de ごはん」や「北大マルシェ Café&Labo」が営業予定ですが、他団体による貸切などの場合は利用できません。大学や札幌駅周辺には飲食店が多数ありますので、そちらもご利用ください。会場にお弁当を持参いただくことも可能です。
- ・会場では eduroam の利用が可能です。詳細はご所属機関の eduroam 担当部署にお尋ねください。eduroam アカウントをお持ちでない方には、ゲスト用 wifi への接続方法をご案内しますので、受付でお申し出ください。パソコンやタブレット等、接続用機器は各自でお持ち込みください。

5. 日本中東学会第41回年次大会プログラム（2025年4月22日現在）

第1日目：2025年5月17日（土）

14:00–16:30 公開講演会 *ハイフレックス方式：対面と Zoom の併用

17:00–18:00 日本中東学会総会 *ハイフレックス方式：対面と Zoom の併用

19:00–21:00 懇親会 *ホテルマイステイズ札幌アспен（札幌市北区北8条西4丁目5番地）

会場：北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟2階 W203

（北海道札幌市北区北10条西7丁目）

*JR 札幌駅北口から徒歩約7分、地下鉄南北線「北12条駅」徒歩約8分

【公開講演会】

海がつなぐ北ユーラシアと中東

中東地域は、古来、海を介した周辺諸地域とのつながりの中で歴史を営んできました。西に広がる地中海や南に広がるインド洋を媒介とする交流はしばしば話題にのぼりますが、この公開講演会ではカスピ海と黒海という北の海に焦点を当てます。海の向こう側の北ユーラシアの視点に立つ講演二つと、海の南方の中東の視点からのコメント二つを通して、中東地域を捉えなおしたいと思います。

全体司会：佐藤健太郎（北海道大学）

講演：諫早庸一（北海道大学）

「ダンテのアノマリ（1315～22年）と黒海世界：モンゴル、ジェノヴァ、マムルーク」

講演：長縄宣博（北海道大学）

「愛憎の坩堝：20世紀初頭のカスピ海の港町」

コメント：堀井優（同志社大学）、黒田卓（東北大学）

質疑応答・全体討論

主催：日本中東学会

共催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

第2日目：2025年5月18日（日）

09:30–11:50 個人研究発表（＊対面方式）

11:50–13:00 昼休憩

13:00–16:10 企画セッション／個人研究発表（＊対面方式）

会場：北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟

（北海道札幌市北区北10条西7丁目）

＊JR 札幌駅北口から徒歩約7分、地下鉄南北線「北12条駅」徒歩約8分

＊氏名の右側の（ ）内は所属、Jは大学院生を示す。

【企画セッション Panel Sessions】

企画セッション Panel Session 1 13:00–14:30（会場 Venue：W201）

Reconsidering MENA Political Change, Conflict and Security “from Below”

企画責任者・司会 Organizer & Chair：

Kota SUECHIKA (Ritsumeikan University)

発表者 Presenters：

Chin-Kuei TSUI (National Chung Hsing University), “The Collapse of Bashar al-Assad’s Regime: Geopolitical Impacts in the Middle East”

Takuro KIKKAWA (Ritsumeikan Asia Pacific University), “Water and security history of Jordan: The case of international cooperation and conflict in the early 1960s over the Yarmouk River”

Kota SUECHIKA (Ritsumeikan University) and Dai YAMAO (Kyushu University), “Measuring Public Support for Armed Non-State Actors at War: A Comparative Study of the Cases of the “Axis of Resistance””

企画セッション Panel Session 2 14:40–16:10（会場 Venue：W201）

The Gulf States and Trump’s Second Presidency

企画責任者・司会 Organizer & Chair：

Abdullah BAABOOD (Waseda University)

発表者 Presenters：

Matthew GRAY (Waseda University), “The US and the Gulf in Trump’s Second Term: Five Key Issues and Three “Black Swans””

Steven M. WRIGHT (Hamad bin Khalifa University), “Trump’s Digital Dollar Agenda: An Analysis of the Prospects for Tokenised Commodities and its Implication for GCC Countries Foreign Relations”

Adel ABDEL GHAFAR (Middle East Council on Global Affairs), “Great Power Competition in

the GCC Under Trump 2.0: Prospects and Challenges”
Koji HORINUKI (The Institute of Energy Economics), “Gulf Geopolitics and Challenges for Conflict Mediation Mechanisms in the Era of Trump 2.0”
Kazuto MATSUDA (Middle East Council on Global Affairs), “The Gulf States and Trump’s Second Presidency: Opportunities and Challenges for Japan”

企画セッション Panel Session 3 13:00–14:30 (会場 Venue : W202)

中東の政治変動とエネルギーのネクサス

企画責任者・司会 Organizer & Chair :

小林周 (日本エネルギー経済研究所)

発表者 Presenters :

豊田耕平 (東京大学 J) 「湾岸アラブ諸国における脱炭素化と技術提携」

高橋雅英 (中東調査会) 「中東域内のエネルギー依存関係：政治的危機と天然ガス供給の関係性」

小林周 (日本エネルギー経済研究所) 「北アフリカにおけるエネルギー開発：域内・国際政治との連動」

企画セッション Panel Session 4 14:40–16:10 (会場 Venue : W202)

「フェミニズム」を再考する：ムスリム・コミュニティとそれを取り巻く実践現場から

企画責任者 Organizer :

後藤絵美 (東京外国語大学)

司会・ディスカッサント Chair & Discussant :

高橋圭 (東洋大学)

発表者 Presenters :

後藤絵美 (東京外国語大学) 「ムサーワールの知識構築をめぐる実践から「イスラミック・フェミニズム」を考える」

村上薫 (アジア経済研究所) 「トルコのフェミニズムとクルド女性運動：関係の模索と対話の試み」

鷹木恵子 (桜美林大学) 「女性イマームとフェミニズム：パリの二つの男女混合モスクの事例から」

保井啓志 (同志社大学) 「10.7 後のイスラエルにおける性的少数者の権利運動とその正当性をめぐる闘争」

【個人研究発表】

第1部会 (会場 Venue : W101)

司会：押尾高志

1-1) 09:30–10:10 棚橋由賀里 (京都大学) 「枢軸と鐘：15–16 世紀モロッコにおける聖者概念」

- 1-2) 10:20-11:00 私市正年 (学会員)「サハラ交易都市タマンティートの繁栄とイスラーム法体制確立：al-Maghili の扇動によるユダヤ教徒虐殺事件の再考」
- 1-3) 11:10-11:50 シェッターディ・アキル (慶應義塾大学)「モロッコの旧市街とインフォーマル居住地を通して考える都市計画の脱植民地化」

司会：鈴木慶孝

- 1-4) 13:00-13:40 桜井啓子 (早稲田大学)・沈雨香 (早稲田大学)「カタール人の配偶者選択における学歴意識」
- 1-5) 13:50-14:30 児玉恵美 (日本学術振興会)「レバノン内戦の行方不明者をめぐる記憶：ドルーズ派女性の日常から」
- 1-6) 14:40-15:20 望月葵 (公立小松大学)「中東の難民ガバナンスの変容：シリア難民危機以後のヨルダンに着目して」
- 1-7) 15:30-16:10 幸加木文 (上智大学)「欧州のトルコ系移民・難民団体の現状とその影響：トルコの人権状況に照らして」

第2部会 (会場 Venue : W102)

司会：橋爪烈

- 2-1) 09:30-10:10 村山春奈 (学会員)「ファティマ朝期における嘆願書の役割：弱者救済の側面に注目して」
- 2-2) 10:20-11:00 三橋咲歩 (早稲田大学 J)「マムルーク朝期エジプトにおける災禍の情報と記憶」
- 2-3) 11:10-11:50 森才人 (早稲田大学 J)「オスマン朝期エジプトの州総督府：後期マムルーク朝宮廷空間の継承」

司会：澤井一彰

- 2-4) 13:00-13:40 岡本多久実 (中央大学 J)「イスタンブルにおける 1660 年大火とそのユダヤ教徒に対する影響」
- 2-5) 13:50-14:30 秋葉淳 (東京大学)「18 世紀オスマン朝法廷台帳に見る性暴力：法廷文書・街区共同体・執行権力」
- 2-6) 14:40-15:20 岩田和馬 (東京外国語大学 J)「18 世紀イスタンブルのオドゥンカプにおける材木流通と密売の分析」
- 2-7) 15:30-16:10 村田七海 (東京外国語大学 J)「近代オスマン帝国における国境管理制度：1911 年・1918 年パスポート法の検討」

第3部会 (会場 Venue : W201)

司会：米田優作

- 3-1) 09:30-10:10 横田貴之 (明治大学)「イスラーム主義運動における「宗教の政治化」・「政治の宗教化」の新局面：エジプト・ムスリム同胞団の在外指導部に関する事例研

究」

3-2) 10:20-11:00 高尾賢一郎 (中東調査会)「サウジアラビアの今日の「変革」をめぐるイスラームの位置づけ」

3-3) 11:10-11:50 澤口右樹 (一橋大学)「10月7日以降のイスラエル軍における宗教」

第4部会 (会場 Venue : W202)

司会：濱中新吾

4-1) 09:30-10:10 濱中麻梨菜 (東京大学 J)「現代パレスチナとハンダラ：2000年代以降におけるメディア横断的登場と派生形」

4-2) 10:20-11:00 工藤幹太 (北海道大学 J)「オリーブは語ることができるのか？：パレスチナの食と記憶の政治生態学」

4-3) 11:10-11:50 中村友紀 (日本工営株式会社)「パレスチナにおける紛争が農家の複合経営に及ぼす影響の定量的分析：農業復興と経営安定化に向けて」

第5部会 (会場 Venue : W308)

司会：大坪玲子

5-1) 09:30-10:10 谷憲一 (国立民族学博物館)「シーア派言説のパラダイム・シフト？：革命後イランの政治的ノウへの事例から」

5-2) 10:20-11:00 竹村和朗 (東京外国語大学)「現代エジプトの離婚争いの構造：エジプト紙に掲載された離婚・扶養事案記事の分析から」

5-3) 11:10-11:50 嶺崎寛子 (成蹊大学)「規範と現実のはざまで：親族付き合いの情報「操作」による関係調整の分析」

司会：千葉悠志

5-4) 13:00-13:40 吉村貴之 (早稲田大学)「亡命アルメニア人とソヴィエト・アルメニアの「国民文化」：ミフラン・トゥマジャンを例に」

5-5) 13:50-14:30 鈴木麻菜美 (京都大学)「メディアによるイスラーム音楽発信の社会的役割：トルコにおけるアレヴィーの儀礼音楽の事例から」

5-6) 14:40-15:20 Tianzaijie YANG (Northwest University, J), “The Canonization of Shahnameh and the Remaking of Iranian Historical Memory under the Pahlavi Regime”

5-7) 15:30-16:10 永田瑞稀 (慶應義塾大学 J)「展示される伝統：湾岸諸国の博物館における真珠産業文化の展示とその表象」

第6部会 (会場 Venue : W309)

司会：白谷望

6-1) 09:30-10:10 法島香月 (早稲田大学 J)「エルドアン政権期の親クルド政党による「トルコ市民化」路線の変遷：政権や他野党との関係に注目して」

6-2) 10:20-11:00 Rawia ALTAWHEEL (Japan Society for the Promotion of Science),

“Transitional Islamist Governance in Syria Post Assad: The Case of Hayat Tahrir al-Sham”

- 6-3) 11:10-11:50 渡邊駿 (日本エネルギー経済研究所／京都大学) 「君主制型権威主義体制におけるテクノクラート内閣の利用」

司会：貫井万里

- 6-4) 13:00-13:40 ザーケリー・ゴドラトラー (明治大学 J) 「「イノベーション決定過程」からみる日本・イランにおける映画の受容」
- 6-5) 13:50-14:30 Nicholas MANGIALARDI (Williams College), “Bridging Silver Screens: The First Japanese Film Week in Egypt, 1966”
- 6-6) 14:40-15:20 黒田賢治 (国立民族学博物館) 「明治期における聖典クルアーン：翻訳書登場以前の知的系譜をめぐって」
- 6-7) 15:30-16:10 Zizhao QIANG (Northwest University / Kyushu University, J), “Japanese Intellectual Elite’s Views on the Ottoman Empire during the Meiji Period (1868-1912)”

第7部会 (会場 Venue : W408)

司会：福田義昭

- 7-1) 09:30-10:10 岡崎弘樹 (亜細亜大学) 「シリアの女性作家が描く戦争：リアリスティックとイマジナルの間」
- 7-2) 10:20-11:00 中村菜穂 (大阪大学) 「イラン現代詩における戦争詩の主題について」
- 7-3) 11:10-11:50 村上武則 (中央大学) 「バローチ人起源譚『クルドガール・ナーメ』のクルド語翻訳とその受容」

司会：黒田彩加

- 7-4) 13:00-13:40 ダヌシュマン・イドリス (立命館大学) 「ムスリムの社会統合におけるモスク説教の役割：日米比較の視点から」
- 7-5) 13:50-14:30 中町信孝 (甲南大学) 「阪神間地域のモスクとムスリム・コミュニティ」
- 7-6) 14:40-15:20 川本智史 (東京外国語大学) 「都立多磨霊園のムスリム墓地悉皆調査の報告」
- 7-7) 15:30-16:10 小島宏 (早稲田大学) 「コロナ禍中の英国におけるムスリム若者の慈善関連行動の宗教関連要因」

第8部会 (会場 Venue : W517)

司会：堀抜功二

- 8-1) 09:30-10:10 河野奈津美 (京都大学 J) 「ガラル (不確実性) を排除した保険を目指して：マレーシアのタカーフル (イスラーム型保険) を形成する理念とは何か」
- 8-2) 10:20-11:00 上山一 (釧路公立大学) 「スエズ運河が近代エジプト経済に及ぼした影響について」

- 8-3) 11:10-11:50 パホモフ・オレグ (東北大学) 「正義の輪」としての超民族的存在：
中東の国際関係理論へ向けて」

司会：堀井聡江

- 8-4) 13:00-13:40 小野仁美 (東京大学) 「チュニジア刑法第 230 条 (ソドミー法) とシャ
リーア」
8-5) 13:50-14:30 早矢仕悠太 (アジア経済研究所) 「TEI を用いたイスラーム法学書を構
成する学説分析の試み：10 世紀マーリク派法学書の礼拝章を素材として」
8-6) 14:40-15:20 榮谷温子 (慶應義塾大学) 「クルアーンにおける hal 疑問文の用法」
8-7) 15:30-16:10 クレシ明留 (慶應義塾大学 J) 「アラビア語学習者の実態：日本に暮ら
すムスリムの宗教実践に与える影響」

6. 大会についての連絡先

日本中東学会第 41 回年次大会実行委員会事務局
〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目
北海道大学大学院文学研究院・末森晴賀研究室
E-mail : james2025hokkaido@let.hokudai.ac.jp

(第 41 回年次大会実行委員会)

『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告

1. 今年度発行号について

前号でもお知らせしたとおり、41-2 号の投稿締切は試験的に延長され 2025 年 7 月
1 日 (火) となりました。

2. お問い合わせ先の変更

編集委員長の交代に伴い、お問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりとなりまし
た。

〒113-0033 東京都 文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院人文社会系研究科 菊地達也研究室気付

『日本中東学会年報』編集委員会

E-mail: ajames-editor@james1985.org

(菊地達也 AJAMES 編集委員長)

寄贈図書

【単行本】

足立真理『イスラームの慈善の論理と社会福祉：現代インドネシアにおけるザカートの革新と地域の主体』明石書店、2024 年。

辻大地『前近代イスラーム社会と〈同性愛〉：男性同士の性愛関係からみた社会通念の形成過程』九州大学出版会、2025 年。

(大塚修 事務局長)

会員の異動

【2024 年度をもって退会した会員】

青木 健太	池邊 智基	石田 裕了	岩田 紘宜	今澤 浩二
岡崎 桂二	小林 春夫	柴田 英知	新谷 恵司	店田 廣文
常陸 民生	藤井 千晶	水田 正史	吉田 世津子	横山 隆広
Dana Alnafouri	Hussein Khaldoun			

【新入会員】

大石 達生
強 子昭
豊田 耕平
新村 出
永田 瑞稀
パホモフ オレグ
久永 優吾
吉田 達矢
Abdel Ghafar Adel
Steven Martin Wright
Tsui Chin-Kuei

【所属先変更】

アブデルハディ ハーニ	明治大学
上野 祥	立命館大学
岡 真理	早稲田大学
木下 実紀	京都大学
竹村 和朗	東京外国語大学
谷 憲一	国立民族学博物館

千坂 知世 北海道大学
本間 流星 東京外国語大学

(大塚修 事務局長)

事務局より

今年度より事務局長をお引き受けすることになりました、東京大学大学院総合文化研究科（駒場キャンパス）の大塚です。歴史を紐解いてみると、駒場キャンパスに事務局が置かれるのは第1期理事会以来のことで、じつに40年の時を経て駒場に事務局が戻ってきたことになります。この40年間の間にキャンパスの様子は随分変わりましたが、学会が置かれている日本、ひいては世界の学術的環境も大きく変わってきています。その中で、日本中東学会が役割を果たし、若手の研究者の育成に貢献していけるように、円滑な事務局運営に努める所存です。慣れない役目になりますので最初のうちはご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、新事務局に対しましても、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(大塚修 事務局長)

日本中東学会ニューズレター 第177号

発行日 2025年5月2日

発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科 大塚修研究室
室内

日本中東学会事務局

E-mail: james@james1985.org

<https://www.james1985.org/>

郵便振替口座：00140-0-161096

(日本中東学会)

ゆうちょ銀行口座：〇一九店（当）0161096

(ニホンチュウトウガッカイ)